

県業務の外部委託 (アウトソーシング) による業務改革 ~ 新しい自治のしくみを目指して ~

H16.9.1業務改革推進室

アウトソーシング後の姿

県民は

県民は多様で質の高いサービスを受

民間 地域では

公共に関わる県民の増加
民間の技術力と創意工夫によるビジネス
チャンスの拡大
雇用の拡大
地域の知恵と資源の活用

県庁は

自治体経営の持続

県益をリードする政策集団への質的転換
県民・民間とともに仕事をする開かれた県庁へ
県民・民間と職員が仕事を通じて切磋琢磨
新たな行政課題への対応

アウトソーシングの目的

県民サービスの質の向上
民間との協働による人材育成、雇用創出
県民の参画、地域の活性化
県庁の自発的なスリム化

民間でできることは
民間に

県は直接担うべき業務に
集中

アウトソーシング (県がとるべき改革 の自発的な手法) がもたらす変化

県民・民間と県庁の関係が変わる
県民・民間と県庁の最適な機能分担
(それぞれの強みを生かした組み合わせ)
県民・民間と県庁の新しいつき合い方
(ともに県民生活を支えるパートナー)

アウトソーシングの検討の視点

アウトソーシングできない
ものを考える

その他の改革の手法

財政構造改革
行政改革
IT化・集中化による業務改善
.....

背景

県民

県民ニーズの多様化・複雑化
小さな政府
(コストを下げる、負担を増やさない...)
.....

県庁

県財政の危機的状況・大幅な財源不足
県庁特有の複雑な事務処理がコスト高を招く
大量退職時代を迎える
.....